

わ
輪を和でつなぐ

広報

しまはち通信



Shima8 news

第6回 島田療育センターはちおうじ セミナー

1月23日（木）に第6回しまはちセミナーを開催しました。今回のテーマは『障害者が地域で生きることの理想と現実』として、NPO法人ぽんぽこの青年部のみなさんに演奏を、日本福祉大学教授であり社会福祉法人睦月会理事長でもある綿祐二先生に講演をしていただきました。医療・福祉関係職、教育・保育関係職、学生、障がいをもつ方やそのご家族など幅広い層で約150人の参加をいただきました。



ぽんぽこさんに演奏をお願いするのは今回で3回目、しまはちセミナーの恒例となっています。1曲目は「つばさをください」をリコーダーのみでお届けしていただきました。にぎやかな太鼓と違い、静寂の中でのリコーダー演奏は緊張感がありながら、演奏が終わった時に会場の緊張が溶けていく空気感が印象に残っています。太鼓は全部で9曲聴かせてくださり、たたく姿は楽しさ、エネルギー、緊張感などみなさん一人一人が違った個性を存分に感じさせてくださった演奏でした。



綿祐二先生はセミナーのタイトル通り、障がいをもつ方々と生きてきた先生の今までの経験した現実をありのまま話してくださいました。またその現実と、当事者の方やそのご家族が抱く理想とのギャップが摩擦をうみ、地域で生きにくくなったという経験談もありました。こんなことを言われてしまった、こんなことをされてしまったといった辛く悲しい経験を、笑いも交えながらの講演は、参加者の皆さんが引き込まれたと思います。講演後の質疑応答も充実したものとなりました。

第7回しまはちセミナーもお楽しみに！

（リハビリテーション科 理学療法士 角田雅博）



綿祐二先生と
小沢所長のツー
ショット♡

綿先生、ぽんぽ
この皆様、あり
がとうございま
した。



通所



アストロジャガーズ交流会

昨年末の12月27日、毎年恒例となった地域の少年野球チーム「アストロジャガーズ」との交流会も兼ねた餅つき会を行いました。通所の利用者様4名とアストロジャガーズの子どもたち、そして外来に来ていた子どもたちも、みなでお餅つきをしました。餅米のいい匂いが1階ロビーに漂い、大きな臼と杵で餅をつく心地の良い音がする中、「よいしょ！よいしょ！」と大きなかけ声も合わさって大いに盛り上がりました。つきあがったお餅は2階に運び、通所の利用者様が鏡餅に成型し、通所と外来に飾りました。

楽しかったお餅つき。また来年も元気にみなさんとお餅をつきたいと思います。



【通所科 坂本 絵梨奈】

八王子市障害者文化展に作品出展

1月17日から21日までの5日間、八王子市障害者文化展が開催されました。様々な施設や学校の力作が顔を連ね、どの作品からも制作者の思いを感じることができました。島田療育センターはちおうじ通所科でも日中のお仕事活動をモチーフにした作品を制作し、出品しました。普段の活動でも使えるようにと、大型のランプシェードをみんなで力を合わせて作りしました。惜しくも入賞は逃してしまいましたが、17日からの3日間、グループ外出で利用者の方やご家族と和やかな雰囲気の中で作品を鑑賞することができました。



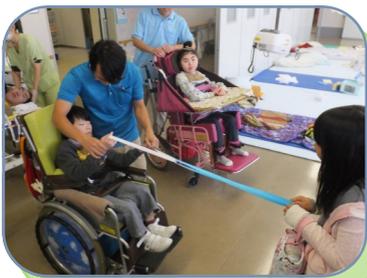
利用者様もほかの方の作品を見て興味津々。作品を味わいながら、次回への創作意欲をチャージすることが出来た、見学となりました。

【通所科 児玉 裕】



八王子市立第7小学校との交流

毎年の恒例となった「八王子市立第7小学校五年生との交流」を10月17日～19日の3日間にわたり行いました。今回も総勢120名が来所し「障害体験」「通所利用者様との交流」「センターの仕事紹介」の3つを総合学習の一環として体験されました。中でも今年は、自分たちも小学5年生



の時に交流を体験した、第7中学校の1年生が福祉体験で来所しており、自身の体験を基に小学生の案内を行ってくれて輪のつながりを感じました。今後、ますますそのつながりの輪が広がり、近い将来この交流体験を経験した方が島はちに来てくれることを楽しみにしています。



【通所科 大谷 聖信】



4年ぶりの大雪

1月22日正午から、23日未明まで降り続いた雪で、八王子市は30cmを超える雪が降り積もりました。

『オール島田八王子』により駐車場一面の雪は、午前中に一掃され、午後いらっしゃった利用者様を無事にお迎えすることができました。除雪作業の後の体に、缶コーヒーがひときわ



暖かくよりおいしく感じられました。

島はちの団結力を垣間見ることが出来ました。雪かきの大変さを痛感して、今年最後の雪であることを願いたいと思います。



【通所科 實方 智保】



職員向け勉強会

栄養評価の重要性を学ぶ

12月7日（木）に茨城県立医療大学保健医療学部医科学センター教授・付属病院長の岩崎信明先生をお招きして講演会を開催しました。

テーマは「重度心身障害における栄養所要量の算出に向けた取り組み」でした。「栄養」に関して、理学療法の成人分野では注目され始めており、「栄養ケアなくしてリハなし」と言われるようになっていきます。



私達の身体を構成している骨と筋肉は、①重力と運動、②栄養、③太陽の光によって維持されており、生命活動の基本となっていると言われていきます。これらはバラバラな要素ではなく、それぞれ密接に関わり合っています。

重症児者は疾患の特徴（筋緊張亢進や栄養投与ルートの制限など）や介護の利便性を考慮して体重を制限してしまうことでBMIが低値となり、極度のやせ、低栄養状態に陥りやすいことが多いです。低栄養状態は易感染性、骨折、長期入院、頻回の入院、褥瘡・創傷治癒遅延など様々な臨床的合併症をきたす危険性があります。適切な栄養療法を実施することで重症児者の残存、回復、代償能力を高めることが可能となります。しかし、実施する上では栄養評価が不可欠となりますが、お子さんによって身体状況が大きく異なるため個性が高く、評価が難しいと言われていきます。

今回の講演は、この難しい評価について岩崎先生の長年の研究結果を踏まえた上で、エネルギー所要量（摂取すべきカロリー量）の算出方法について2例の症例を通して一つの指針を示して頂きました。島はちでは測定機器が限られているため難しいですが、栄養評価を実施していく上での注目すべき点、栄養評価の重要性を再認識することができた貴重な講演会となりました。

島はちでは、昨年7月に栄養委員会が発足し、メンバーは医師・看護師・理学療法士・言語聴覚士です。センター利用者様がより豊かな生活を送れるように栄養評価を行っていきたいと思います。

【リハビリテーション科理学療法士 黒川洋明】

米国の最新事情から日本の教育の在り方を考える

11月は発達障害がご専門である、明星大学教授の小貫悟先生をお招きしました。小貫先生は2016年の4月から1年間、アメリカに留学し、アメリカの教育システムや最新の発達障害のアセスメントについて学んでこられ、今回は留学体験記も含めてお話をうかがえました。

クラス全員が理解出来る授業作りに関する“授業のユニバーサルデザイン”について研究されている小貫先生にとってアメリカの教育体制、授業作りは新鮮だったようで、多くの写真を交えて取り組みの紹介をしていただけました。個人的には、子どもたちが各先生を評価するシステムがあることに驚きました。確かに子どもたちからの率直な評価があることで、気づかされることも多いと思います。

発達障害のアセスメントについても、最新の理論について分かりやすく解説をいただきました。少しでも困っている子どもたちの役に立てるよう、今後ももっともっと勉強が必要だなと思いました。

【リハビリテーション科心理士 神田 聡】



からふる報告

発達支援室「からふる」では、12月26日（火）に、“注意欠如多動症（ADHD）の理解と支援”をテーマとして、講習会（小学校教員向け）を行いました。

ADHDは、“ついうっかり”“思わずぱっと”行動してしまいやすく、待つことや効率よく物事に取り組むことなどの難しさがみられやすいです。周囲から見ると、“やる気がないのではないか”“反省していないから同じことを繰り返すのでは”などと誤解されてしまうこともあります。最近の研究でその背景には脳の機能障害（動きにくさ）があるということがわかってきています。

今回の講習会では、やる気、性格ではなく、脳のしくみとしての難しさがあること、それに応じた支援のポイント（分かりやすい環境づくり・補助的なツールを使うこと、取り組む目標は一つずつ順番にすることなど）についてお話ししました。また、保護者の方も含めた関わる大人の大変さにも触れ、大人のストレス対策（休養、気分転換、など）も積極的にとっていただくことをお勧めしました。年末のお忙しい時期にご参加いただいた先生方、ありがとうございました。

【リハビリテーション科心理士 館花 佳奈子】



アラビアの風にのって

2017年12月9日(土)～12月10日(日)に特定非営利活動法人シアタープランニングネットワークが主催する多感覚演劇「アラビアの風にのって」が島田療育センターはちおうじで開催されました(公益財団法人東京都福祉保健財団助成)。障害や難病の子どもたちとその家族のために、バリア



フリーの環境のもとで、英国の劇団オイリーカートンの理念と手法、さらにリラックス・パフォーマンスの概念を一体化させた、ライブ音楽と五感を刺激するパフォーマンスが繰り広げられ、子どもたちとご家族は、日常味わえない心地よい世界を堪能することができました。



【副所長 鮎澤浩一】

ほ っ と ひと い き

今季の冬は寒さも深く、身に堪えますね。

私はマンション暮らしなのですが、季節を感じながら過ごしたいと、3年程前からベランダ緑化計画を始めました。今はラベンダー、紫陽花、ローズマリー等の他、季節のコーナーがあります。今ここにはスミシの可憐な花が咲いており、春にはチューリップが加わる予定です。去年は球根が腐り、紫陽花の新芽は散歩中のうちの猫に食べられ、ラベンダーは花が終わるとそのまま木ごと枯れ、と散々でしたので、この冬は祈る気持ちで育てています。



ところで、ご近所には日当たりが悪くお世辞にもお手入れされているとは言い難いものにも関わらず、とにかく大きくて元気のいいラベンダーがあります。先日このラベンダーがさっぱりと刈り込まれているのを見つけ、なるほど誰かが必要なタイミングで手をかけているのだと知りました。・・・これって何かに似ていますね。



寒い日がもう少し続きますが、みなさまどうぞご自愛ください。

【医師 河野 千佳】

おしらせ

information

「奇跡がくれた宝物」

【いのちの授業】

著者：小沢 浩

発行所：クリエイツかもがわ

価格：1700円(税別)

好評発売中



島田療育センターはちおうじ 小児診療



こどもクリニック

えみんぐ

各種 予防接種を行っています。

予約制となりますので、詳しくはお電話でお問い合わせください。

■ 診療内容

こどもがかかりやすい病気(発熱や嘔吐・下痢など)の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●		
13:45~14:45	予	予	予	乳	予		
15:00~17:00	●	●	●	●	●		

予... 予防接種 乳... 乳児健診
*土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

